

様式1

平成31年度 学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業 実施計画書

1. 学校の概要

ふりがな	こうちしりつよこうちしょうがっこう				ふりがな	まつおか せいし			
学校名	高知市立横内小学校				校長名	松岡 聖士			
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
児童数等 生徒数等	118	116	123	87	109	97			
	特別支援学級	計		教員数	ふりがな	のだ あや			
	6	児童/生徒数	学級数	37	推進教諭名	野田 綾			
		650	27						

2. 研究主題

思いや考えを生き生きと表現できる子どもの育成

～対話を通して自分の考えを深める授業づくり～

3. 研究主題設定の理由

本校は、3年前から国語科に重点を置いた研究に取り組み、「書く」活動や「伝え合う」活動を通して子どもたちが思考し、表現したくなる授業づくりを目指してきた。これまで①「書く」活動や「伝え合う」活動を通して思考力・表現力を高めること、②各教科と関連付けた図書館・新聞活用を促し、情報を収集し、整理すること、③学んだことを表現につなげる学習の研究を進めてきた。また、昨年度は「学校図書館を活用した『読み』を鍛える拠点校事業」を受け、言語能力・情報活用能力の育成に向けた授業研究を進めてきており、本年度はその事業の2年目となる。

研究成果の一つとして、「表現活動」のあるゴールを設定し、図書館資料を活用する学習を組み込んだ単元づくりが充実してきたことが挙げられる。ゴールモデルを提示することで、相手意識・目的意識が明確になり、単元を通して子どもの意欲が途切れることなく取り組める事例が多くなってきた。また、「書く」活動を基盤とした自分の考えを伝え合う授業づくりを進めたことで、つなぎ言葉を使って発言を続けたり、学習のポイントとなる言葉を使って根拠や理由を明らかにしたりする子どもの姿が増えてきている。

一方で、授業展開の中で対話が位置付いてきたものの、「伝える」という意識が弱く、互いの意見を交流することにより、さらに考えを深めたり、再構築したりすることは十分にできていない。また、図書館の利用率は高いものの、進んで読書をする児童とそうでない児童とが二極化の傾向にあることや、目的に応じた情報収集や整理の力には課題が見られることなど、学校図書館活用の在り方についても検討すべき点が見えてきている。

以上のことから、研究主題の副題を「対話を通して自分の考えを深める授業づくり」と設定した。引き続き、国語科を中心として学校図書館を積極的に活用し、『読み』を鍛える」視点を持った授業研究を行いながら、授業の中では、「対話」を効果的に仕組むことを研究の柱に置くことにした。「書く」活動と「伝え合う」活動をつなげ、児童の考えを表現し合う場面設定をするとともに、全体で「吟味・検討」する活動を工夫して行っていく。指導者が児童の考えをつなぎ、時には意図的にゆさぶるなどの働きかけを行うことで互いの考えを知ることの楽しさを感じさせ、多様なものの見方・考え方ができるような授業づくりを目指したい。

4. 研究仮説

以下の2点を意識して授業改善を進めることで、思いや考えを生き生きと表現できる子どもが育つのではないかと。

- 基礎的・基本的な「読む」知識・技能を身に付けさせ、さらに、その力を目的に応じて活用できる力に発展させる。
- 「書く」活動と「伝え合う」活動をつなげ、学習展開の中で対話を効果的に仕組むことにより、自分の思いや考えを構築させる。

5. 方法及び内容

- (1) 国語を軸とした授業づくりのプロセスの研究を行う。
 - ・ 2つの学年において、「国語科授業づくり講座」(教材研究会, 授業研究会)を開催する。
 - ・ 授業づくり講座以外の4つの学年においても、全校研またはブロック研を行い、国語科の授業を公開する。
 - ・ 図書館資料や新聞の活用を単元構成に組み入れる。
 - ・ 言語能力や情報活用能力の育成を図る。
- (2) 各学年で、学年に応じた「語彙を増やし、語彙の質を高める」取組を行う。
- (3) 図書や新聞の計画的な活用を行う。
- (4) 学校図書館を活用した活動を広げ、読書活動の活性化を図る。

6. 研究体制

全教員が、①研究部(授業改善部, 学力保障部, 図書館教育部) ②三部(生徒指導部, 特別活動部, 人権教育部)の2つに所属し、研究を進める体制となっている。授業改善部が中心となり研究授業の計画・運営を行う。また、図書館教育部は図書館活用の授業実践の情報交換、児童の読書活動の実態把握を行い、図書館・新聞活用の在り方について研究をし、実践を進める。学力保障部は学力分析を行い、基礎学力向上のための取組を進める。それぞれの部会が連携を取りながら研究授業や研修の充実を図っていく。

7. 検証

達成目標	指標	時期
○ 全国学力・学習状況調査や到達度把握調査において、全国平均より国語・算数ともに「+3P」以上を目指す。また、高知県学力定着状況調査において、県平均より国語・算数ともに「+1P」以上を目指す。	・全国学力・学習状況調査 ・高知県学力定着状況調査	2019年 4月 2020年 4月 2019年 12月
○ 読書活動の推進として、「読書貯金」による学年別の目標冊数達成率70%以上を目指す。	・「読書貯金」への記録	2020年 3月
○ 校内生活アンケートにおいて、「読書が好き」と答える児童が90%以上、「国語の勉強は将来役に立つ」と答える児童が70%以上を目指す。	・校内生活アンケート	2020年 4月

8. 成果普及の方法

普及内容	方法	時期
○ 国語授業づくり講座の開催	・ 4学年と5学年の教材研究会と授業研究会を公開する。	・ 5月, 6月 10月
○ 学校図書館や新聞等を活用した授業実践・研究授業の充実・発信	・ 図書館資料及び新聞を活用した授業を実践・公開する。	・ 通年(4回)
○ 教職員に向けての情報発信	・ 研究だよりや図書館だより等を発行し, 研究の共有化と発信を図る。	・ 通年
○ 保護者・地域に向けての情報発信	・ 学校便り及び学校HPで発信する。	・ 通年
○ 学校図書館環境づくりによる発信	・ 図書館資料及び新聞を活用した授業の様子, 「こども高知新聞」記者としての活動や成果の校内掲示等を通して, 児童への動機付けを行うとともに保護者・地域への発信を行う。	・ 通年
○ 研究の成果と課題把握・発信	・ 研究集録を作成し, 成果と課題を共有するとともに他校に発信する。	・ 年度末

9. 年間事業計画

	校内研修等	公開授業・研究発表会 ※校外に案内する会	校外研修・視察等
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の実態把握 ○ 平成31年度研究主題・研究内容の共有 (講師: 高知市教育委員会学校教育課 西岡博子指導主事) ○ 研究部・三部活動計画作成 ○ 研究推進委員会 ○ 全国学力・学習状況調査 		

5月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材研究会 ○ 22日(水) 特別支援学級事前研 ○ 29日(水) 特別支援学級全校研 	15日(水) 4年授業づくり講座 <教材研究会> (講師:前鎌倉女子大学准教授 松永立志 氏)	14日 蓮池小 授業づくり講座 17日 鏡野中 授業づくり講座
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業研究会 	18日(火) 4年授業づくり講座 <授業研究会> (講師:前鎌倉女子大学准教授 松永立志 氏)	19日 蓮池小 授業づくり講座 21日 鏡野中 授業づくり講座
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各部1学期の成果と課題 		
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内実践交流会(授業改善部) ○ 学力分析の研修(学力保障部) (講師:高知市教育委員会学校教育課 予定) ○ 学校図書館活用の研修(図書館教育部) (講師:未定) ○ 各部2学期の取組確認 ○ 研究推進委員会 		
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブロック研 	20日(金) 2年公開授業 (講師:高知市教育委員会 小笠原スーパーバイザー)	24日 鏡野中 授業づくり講座 27日 蓮池小 授業づくり講座
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材研究会 ○ ブロック研 ○ ブロック研 ○ 授業研究会 	2日(水) 5年授業づくり講座 <教材研究会> (講師:高知市教育委員会) 4日(金) 3年公開授業 (講師:高知市教育委員会 片岡スーパーバイザー) 25日(金) 6年公開授業 (講師:高知市教育委員会 片岡スーパーバイザー) 30日(水) 5年授業づくり講座 <授業研究会> (講師:高知市教育委員会)	3日 高知県図書館 教育研究大会 31日 四国地区図書館 教育研究大会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校研 	20日(水) 1年公開授業 (講師:高知市教育委員会 小笠原スーパーバイザー)	5日 鏡野中 授業づくり講座 8日 蓮池小 授業づくり講座
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高知県学力定着状況調査 ○ 各部2学期の成果と課題 ○ 研究集録作成提案 		
1月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高知県学力定着状況調査の分析 ○ 各部今年度研究の成果と課題 ○ 研究集録の作成 		
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究指定事業の総括 ○ 研究の総括と次年度の研究の 方向性の共有 		
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「読書貯金」調査 		